

株式会社ミュージックバード

第75回番組審議会 議事録

1. 開催日時 平成 30 年 5 月 16 日(水) 15 時 00 分～16 時 30 分
2. 開催場所 TOKYO FM 10階 大会議室
3. 出席者
＜番組審議会委員＞
矢内 廣 委員長
松尾 修吾 副委員長
福本 ゆみ 委員
村井 裕弥 委員
佐野 光徳 委員

欠席
中西 健夫 委員

＜ミュージックバード＞
代表取締役社長 雄谷 英一
常務取締役 大橋 明夫
取締役技師長 土屋 充央
コンテンツ事業部部長代理 岩崎 育郎
コンテンツ事業部 田中美登里
コンテンツ事業部 関根直子
コンテンツ事業部 篠崎めぐみ
4. 議事内容
(1)放送活動のご報告
(2)番組試聴
(3)今後の施策について
5. 配布資料
(1)第75回番組審議会資料
(2)第74回番組審議会議事録
(3)OTOTEN 出展資料

(1) 主な放送活動の報告

◇プレミアムチャンネルの拡大

伝送レートを320kbpsにアップしたプレミアムチャンネルを4月より以下の通り拡大し、合計9チャンネルとなりました。

〈プレミアムチャンネル・ラインアップ〉

- 103ch: Cool Lounge～THE TERASHIMA JAZZ【Premium】・・・NEW
- 126ch: SUPER LEGEND【Premium】・・・NEW
- 107ch: Best Voices【Premium】
- 117ch: KLASSE【Premium】
- 118ch: CLASSIC GARDEN【Premium】
- 121ch: THE CLASSIC【Premium】
- 122ch: THE JAZZ【Premium】
- 123ch: THE 青春歌謡【Premium】
- 124ch: THE AUDIO【Premium】

MB: 伝送レートアップに敏感な契約者から高い音質評価のプレミアムchを拡充した方針を説明。

◇主な4月新番組

① 121ch THE CLASSIC 「渡辺玲子の弓語り」

放送日時: 土曜 11:00～12:00(翌週再放送)

出演: 渡辺玲子(ヴァイオリニスト)

内容: 国際舞台で目覚ましく活躍中の渡辺玲子(Vn)がお届けする番組。名器ガールネリ・デル・ジェスを弾きながら、名曲に隠されたヒミツを演奏家の目線から読み解いていきます。

〈渡辺玲子プロフィール〉

第50回日本音楽コンクールにおいて最年少優勝、同時に第1回増沢賞を受賞。翌年N響と共演し衝撃的なデビューを飾った。その後、ヴィオッティ、パガニーニ両国際コンクールで最高位を受賞。ニューヨークのジュリアード音楽院に全額奨学生として留学し学士と修士を取得。ワシントン・ナショナル響、ロサンゼルス・フィル、セントルイス響、ヴァンクーヴァー響、フィルハーモニア管、BBC 響、ウィーン・トーンキュンストラ管、ロシア・ナショナル管、サンクトペテルブルク響、バンベルク響、N響などと共演。1999年にはニューヨークのリンカーン・センターにおいてニューヨーク・リサイタル・デビュー、その後ワシントンのケネディー・センターやラヴィニア音楽祭、イタリアのストレーサ音楽祭等にも出演。2004年からは演奏活動の傍ら教育にも携わり、秋田の国際教養大学特任教授。

MB: オーディオファンの間でも人気の高いアーティストの番組を増やし、知名度アップと新規契約者獲得を目指すことを説明。

② 121ch THE CLASSIC 「特集で聴く 山之内正のハイレゾ・セレクション」

放送日時: 日曜 12:00～16:00(翌週再放送)

出演: 山之内正(音楽評論家、オーディオ評論家)

内容: 山之内氏がこれまでに試聴してきた膨大な音源の中から、演奏面・録音面で優れた音源を厳選。ハイレゾ音源の聴き方や優秀録音に選んだポイント、特集に沿った音源の楽しみ方などの解説を交えながら紹介するハイレゾ入門の方にも是非聞いて欲しい番組です。

〈山之内正プロフィール〉

オーディオ評論家。神奈川県横浜市出身。東京都立大学理学部卒。在学時は原子物理学を専攻する。出版社勤務を経て、音楽の勉強のためドイツで1年間過ごす。帰国後より、デジタルAVやホームシアター分野の専門誌を中心に執筆。趣味の枠を越えてクラシック音楽の知識も深く、その視点はオーディオ機器の評論にも反映されている。近著:「目指せ! 耳の達人」(共著、音楽之友社)、「ネットオーディオ入門」(講談社ブルーバックス)など

③ 124ch THE AUDIO 「BEST SOUND～オーディオ評論家が選ぶ優秀ハイレゾアルバム」

放送日時:月曜～金曜 15:00～19:00／土曜 16:00～19:00

出演:炭山アキラ

内容:オーディオ評論家が太鼓判を押すハイレゾアルバムを紹介。クラシックやジャズにとどまらず、ポップスや乗り物、自然音までセクション。

炭山氏コメント:ミュージックバードで、私のセクションによるハイレゾ音源 100 タイトルをオンエアすることになった。

セレクトするに当たっては、以下のことを心がけた。

・さすがに 100 タイトルもあれば完璧とはいかないだろうが、可能な限り諸先輩方のセクションとはラインアップが重ならないようにすること。

・レギュラー番組の「激辛優秀録音 音のびっくり箱」でいつでも使えるような「変態ソフト」を中心。

・もちろん優秀録音であること。

びっくりするような音楽を、ぜひ皆さんにじっくりお楽しみいただきたい。

<炭山アキラプロフィール>

昭和 39 年、兵庫県神戸市生まれ。高校の頃からオーディオにハマリ、とりわけ長岡鉄男氏のスピーカー工作と江川三郎氏のアナログ対策に深く傾倒する。そんな秋葉原をうろつくオーディオオタクがオーディオ雑誌へバイトとして潜り込み、いつの間にか編集者として長岡氏を担当、氏の没後「書いてくれる人がいなくなったから」あわててライターとなり、現在へ至る。小学校の頃からヘタクソながらいまだ続けているユーフォニアム吹きでもある。

MB:クラシック、ジャズさらにオーディオファンが好む楽曲や風景音までハイレゾで取り上げ、他にはない高音質コンテンツを楽しむユーザーのニーズに応える改編を行ったことを説明。

委員:秋葉原には電線だけを売るお店もあるが、炭山さんの番組ではそのケーブルによる音の違いまでを伝えることができている。

◇2017年度(2017年4月～2018年3月)個人事業動向

「24ビット放送化」、「プレミアムチャンネル」、「初期費用が0円の新レンタルプラン・コミコミLight」の施策によって、2017年4月～2018年3月の個人事業はそれまで毎年 200 件ほどあった純減が止まり、僅かながら純増となりました。2017 年 10 月には全機種で楽曲ディスプレイ「MBX-1」対応とし、結果として、2017 年度 1 カ年では受信機等の販売合計 617 台を販売、販売額が 3,563 万円(前年比 169%)となりました。

MB:2017 年 4 月～2018 年 3 月で加入契約が純増となった営業施策と連動した専門ch「THE AUDIO」効果と、PCM放送終了後の“オーディオ路線復活”について形が出来てきたと説明。

(2) 番組試聴

番組名:『アナログ・サウンド大爆発！～オレの音ミゾをほじっておくれ』

放送チャンネル:MUSIC BIRD 124ch 「THE AUDIO」

放送日:2018年3月24日(日)9:00～10:00 《再放送(日)20:00～21:00》

出演:田中伊佐資(オーディオライター)

ゲスト:半田健人(俳優・ミュージシャン)

内容:人気オーディオライター、田中伊佐資による「アナログ・レコード」専門番組。60 年～70 年代の洋楽ロック&ポップスを中心に、邦楽、ジャズなどアナログ録音時代のお宝サウンドを掘り起こします。

今回は、昭和おたくで有名なイケメン俳優で、ミュージシャンの半田健人さんがゲスト。昭和歌謡、レコード、ギター、電車、さらには高層ビルマニアという一面もある半田さんは、仕事で地方に行くと最初に探すのはレコード屋と楽器店、それからコーヒーショップだとか。なかでもレコードは小学生の頃からの付き合いとのことで、驚くほどのマニア史を展開しました。

<田中伊佐資(たなかいさし)>

東京都生まれ。音楽雑誌編集者を経てフリーライターに。「ステレオ」「オーディオアクセサリー」「analog」「ジャズ批評」などに連載を執筆中。著作に「オーディオそしてレコードずるずるベツリ、その物欲記」(音楽之友社)、「オーディオ風土記」(DU BOOKS)、監修作に「新宿ピットインの50年」(河出書房新社)。

<半田健人(はんだけん)>

1984年、兵庫県生まれ、『ジュノン・スーパーボーイ・コンテスト』をきっかけに芸能界入り。『ごくせん』第5話のゲスト出演でドラマデビュー。

『仮面ライダー555』乾 巧(いぬい たくみ)/ 仮面ライダーファイズ役で初主演を飾る。

MB:124ch「THE AUDIO」がスタートする前、7年ほど前に立ち上げた。アナログレコードにブームの兆しを捉えた田中氏自身の提案もあって始まった番組。

委員:ゲストがアナログレコードを持ち込んで来るところがミソで田中氏のライブラリーを超え、長寿番組になっている。

MB:半田氏のトークが上手で、世代的に若いオーディオ好きとしてリーダーとなる資質がある。

委員:こんなに面白い方とは知らなかった。高層ビルマニアであるなど非常に面白い。

MB:アナログレコード好きは〇〇マニアという傾向はあるかもしれない。

委員:妙なことが増えている。坂道や地層マニアとかは感性的にオーディオや音楽ではアナログに向かうことがあり得るのではないか?

委員:アナログとハイレゾの関連性はあると思う。CDの時代になって感動しなくなったという話はよく聞く。

MB:マーケティング的にはこれらのマニアックなキーパーソンを活用することが重要と考えている。

◇その他の施策報告

・オーディオ専門サイト「Phile-Web」の当社ページ掲載

本審議会でご指摘のあった当社番組情報の周知方法の検討について、オーディオファン向けに月間140万UUに達するオーディオヴィジュアル専門情報サイト「Phile-Web」(音元出版)への当社情報ページ掲載を実施することとしました。同サイトは、AV機器メーカー及びエンタメ業界の最新情報を集約するサイトで、Phile-Webとしてのメルマガでのインバウンド展開も実施します。

・当社「メールマガジン」の毎週発信

これまで毎月末にメルマガ登録者へ翌月の聴きもの番組情報を配信していましたが、当社契約者はガラケー使用が多く、情報量が多いと受信しきれないため、2018年4月から毎週金曜日配信に変更しました。

<現在の登録状況>合計:909

全ジャンル:500

クラシック:108

ジャズ:96

オーディオ:112

ロック&ポップス:45

歌謡演歌:48

・直販でのショッピングクレジット販売の実施(2018年4月)

JALカードでのチューナー等のオンライン購入受付開始に合わせ、クレジットカードでの決済およびショッピングクレジットを当社HPでオンライン申込可能としました。

・港北ネットワーク「オーディオタイマー」の開発(2018年10月予定)

DATが製造終了となって以来、懸案となっている当社番組のエアチェック方法について、当社チューナーとTEAC製SDカードレコーダーを繋ぎ、簡単な録音予約を可能にする“オーディオタイマー”の開発を港北ネットワークが開始しました。

以上